

2015年8月18日 全6頁

# FRB 銀行上級貸出担当者調査（2015年7月）

## 全ローンにおいて借入需要が増加

ニューヨークリサーチセンター  
上野 まな美  
シニアエコノミスト 土屋 貴裕

### [要約]

- 2015年7月の調査によると、企業向けローンと家計向けローンともに借入需要が増加した。
- 企業向けローンにおいては、商工ローンの貸出基準はほぼ変わらず、特に大企業向けの貸出条件が緩和された。商業用不動産ローンの貸出基準は、基本的に変わらなかった。
- 家計向けローンでは、住宅ローンの多くの分野で貸出基準が緩和された一方で、消費者ローンの貸出基準や貸出条件は、大半の銀行において変わらなかった。

FRB（連邦準備制度理事会）の2015年7月の銀行上級貸出担当者調査（Senior Loan Officer Opinion Survey on Bank Lending Practices）は、2015年4月から6月の3ヵ月間における銀行の企業向け及び家計向けローンの貸出基準、貸出条件、借入需要の変化に関する調査である。同調査では、米国銀行71行と、米国に支店を持つ外国の大手銀行23行が対象になった。

企業向けローンに関しては、商工ローンの貸出基準はほぼ変わらず、特に大企業向けに金利スプレッドなどの貸出条件が緩和された。商業用不動産ローンの貸出基準は基本的に変わらなかった。企業向けローンの借入需要は、商工ローン及び商業用不動産ローンの両方で増加した。

家計向けローンにおいては、住宅ローンの多くの分野で貸出基準が緩和された一方で、消費者ローンの貸出基準や貸出条件は大半の銀行において変わらなかった。家計向けローンの借入需要に関しては、住宅ローンの借入需要が増加し、同様に、自動車ローンとクレジットカードの借入需要も増加した。

今回、貸出基準に関する特別調査が行われ、2005年から現在にかけての貸出基準は、ローンの種類によって著しく異なることが明らかになった。一般的に、企業向けの商工ローン及び商業用不動産に対する貸出基準は、緩和されているか、あるいは過去10年間の中央値に近かった。しかしながら、家計向けローンに対する貸出基準は、過去数年間にわたって幾分緩和傾向にあるものの、サブプライム（信用度の低い）の借り手に対する住宅ローンや消費者ローンは、若干強化されている。

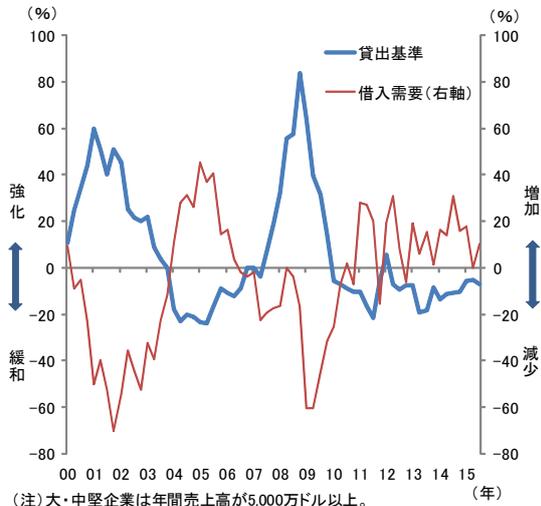
## 商工ローン

商工ローンの貸出基準は、貸出先の企業の規模に関わらずほぼ変わらなかったが、貸出基準を緩和した銀行が若干あった。大・中堅企業向けと中小企業向けの両方で貸出枠にかかる費用を下げ、金利スプレッドを縮小させている。特により大規模な企業に対して貸出条項を緩和したり、貸出枠の上限を引き上げた銀行が多く、それらの貸出条件を強化した銀行を上回った。

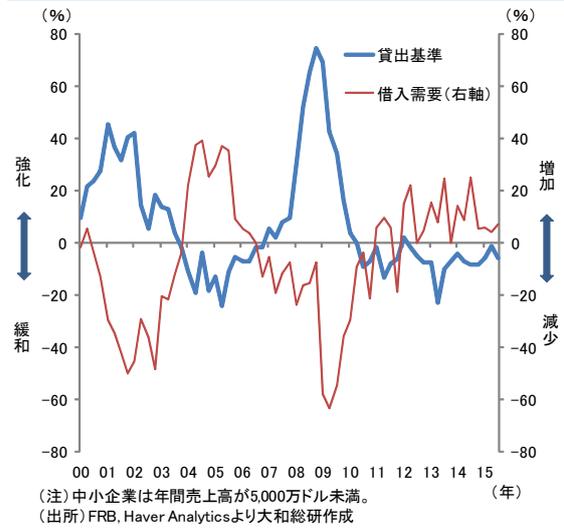
貸出基準や貸出条件を緩和した米国銀行の大半は、他の銀行やノンバンクとの競争激化を主な理由として挙げており、リスク許容度の上昇や経済見通しの好転を理由とする回答も僅かながらあった。一方、貸出基準や貸出条件を強化した銀行は、リスク許容度の低下、業界特有の問題の悪化、不確かな経済見通しを主な理由に挙げている。

商工ローンの借入需要は増加しており、特に、売掛債権やM&A、設備投資・在庫投資の増加といった顧客の幅広い資金ニーズが報告されている。その反対に、借入需要が減少したと回答した銀行も若干あり、他の銀行やノンバンクへの顧客の流出が主な理由であった。

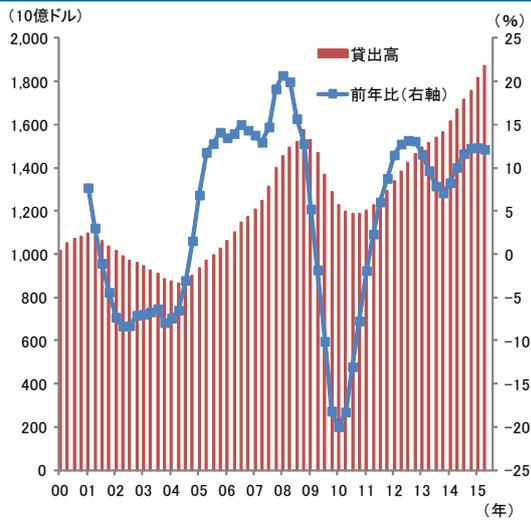
大・中堅企業向け商工ローンの貸出基準及び借入需要



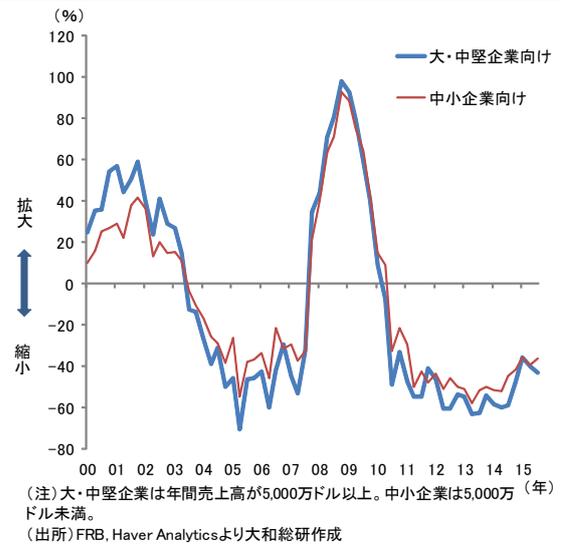
中小企業向け商工ローンの貸出基準及び借入需要



商工ローンの貸出高及び前年比(全商業銀行)



商工ローンの金利スプレッド

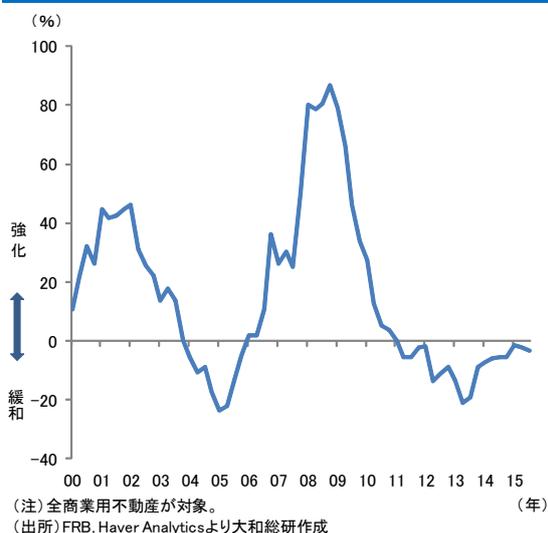


## 商業用不動産ローン

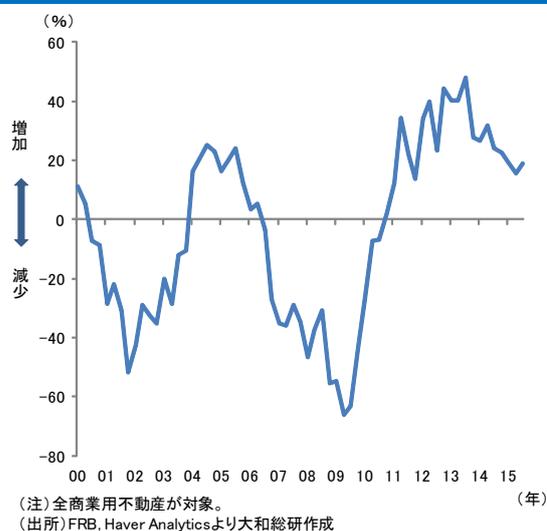
商業用不動産ローンの全分野（建設及び土地開発、非農業用・非住宅用不動産物件、集合住宅物件）において、貸出基準は基本的に変わりなかった。建設及び土地開発や集合住宅物件への貸出基準を緩和した銀行が僅かながらあった半面、強化した銀行も僅かにあった。また、オフィスビルなどの非農業用・非住宅用不動産物件の貸出基準を緩和した銀行も多少あった。

商業用不動産ローンの借入需要は、借入需要が減少したと回答した銀行より、全分野において借入需要が増加したと回答した銀行が幾分多かった。

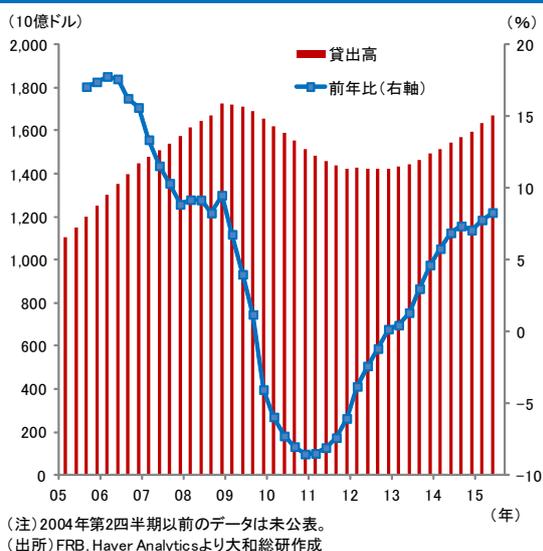
### 商業用不動産ローンの貸出基準



### 商業用不動産ローンの借入需要



### 商業用不動産ローンの貸出高及び前年比(全商業銀行)



### 商業用不動産価格の推移(前年比)

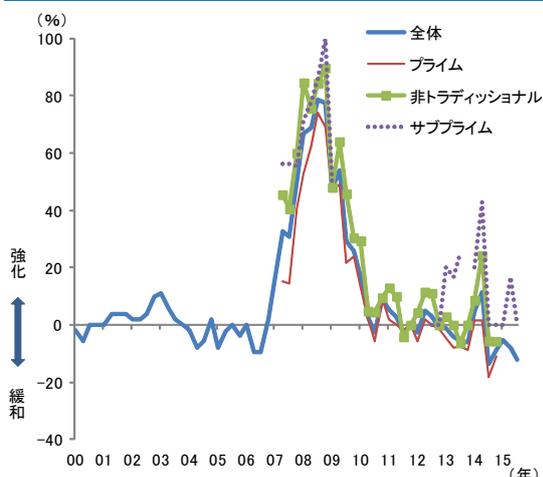


## 住宅ローン

住宅ローンに関しては、政府保証住宅ローンとサブプライム住宅ローン以外で、貸出基準を緩和した銀行があった。特に、消費者金融保護局（Consumer Financial Protection Bureau）が適格と見なす住宅ローンの条件を満たしたジャンボ住宅ローンに対する貸出基準の緩和が目立った。その一方で、大半の銀行がサブプライム住宅ローンの貸出を継続して行っていなかった。

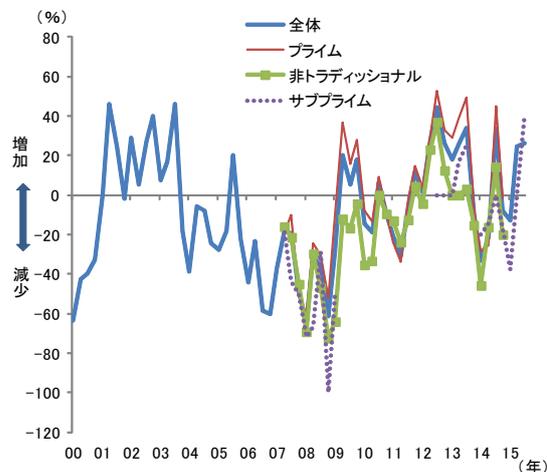
住宅ローンの借入需要は、ほとんどの分野で増加した。

### 住宅ローンの貸出基準



(注)2007年第2四半期より、住宅ローンの分類別貸出基準を発表。2014年第4四半期からは、7つに分類。回答が3社以下の場合、データは未公表。  
(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

### 住宅ローンの借入需要



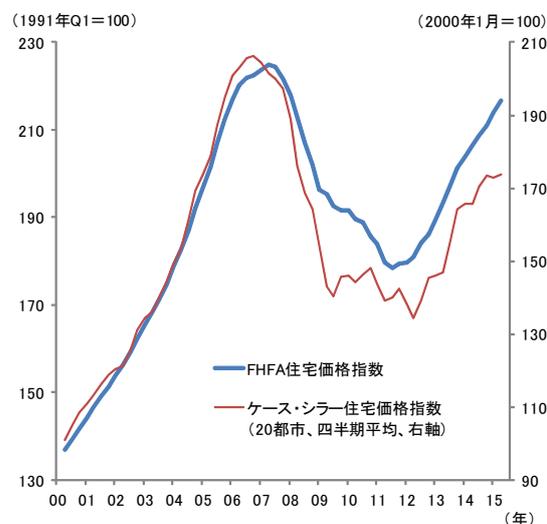
(注)2007年第2四半期より、住宅ローンの分類別貸出基準を発表。2014年第4四半期からは、7つに分類。回答が3社以下の場合、データは未公表。  
(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

### 住宅ローンの貸出高及び前年比(全商業銀行)



(注)2004年第2四半期以前のデータは未公表。ホームエクイティローンを含む。  
(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

### 住宅価格の推移



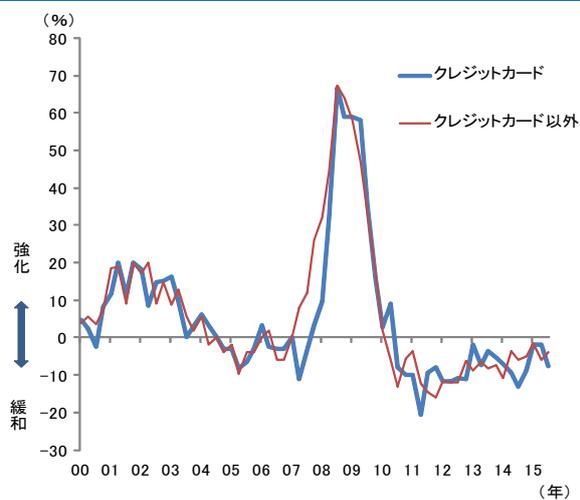
(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

## 消費者ローン

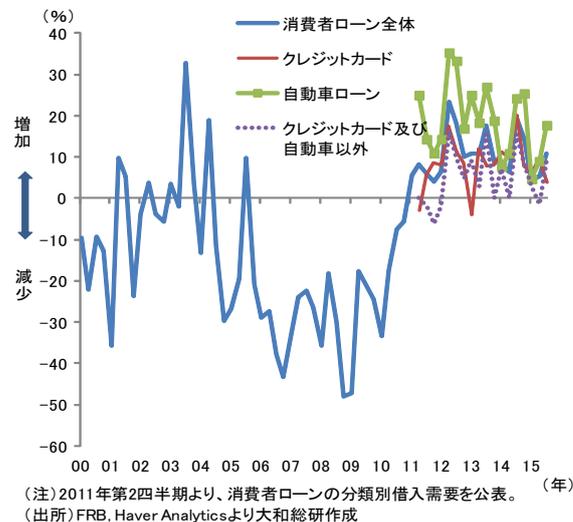
消費者ローンの貸出により前向きとなった銀行は少数であった。大手銀行の中には、クレジットカードローンの貸出基準を緩和した銀行が若干あり、クレジットカードの使用上限の引き上げや最低必要とするクレジットスコアの引き下げを行った。しかし、自動車ローンとその他の消費者ローンに対する貸出基準は、ほぼ変わらなかった。

消費者ローンの借入需要は、自動車ローンの借入需要が増加したと回答した銀行があったほか、大手銀行の中にはクレジットカードローンの借入需要が増加したとの回答があった。その他の消費者ローンの借入需要は、大手銀行においてはほぼ変わりなく、その他の銀行においては増加した。

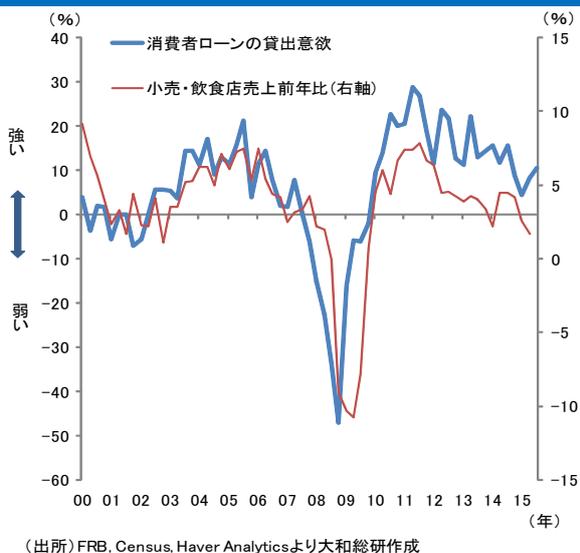
### 消費者ローンの貸出基準



### 消費者ローンの借入需要



### 消費者ローンの貸出意欲及び小売・飲食店売上前年比



### 家計の負債残高の構成(住宅ローンを除く)

